

○ 連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則に規定する金融庁長官が定める企業会計の基準を指定する件（平成二十一年金融庁告示第六十九号）

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改め、改正後欄に掲げるその標記部分に二重傍線を付した項を加える。

改正後	改正前
<p>（一般に公正妥当な企業会計の基準）</p> <p>第一条 連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（以下「規則」という。）第一条第三項に規定する金融庁長官が定める企業会計の基準は、公益財団法人財務会計基準機構（平成十三年七月二十六日に財団法人財務会計基準機構という名称で設立された法人をいう。）が設置した企業会計基準委員会において作成が行われた企業会計の基準であつて、令和元年十二月三十一日までに企業会計基準委員会の名において公表が行われた別表一に掲げるものとする。</p> <p>（指定国際会計基準）</p> <p>第三条 指定国際会計基準（規則第九十三条に規定する指定国際会計基準をいう。）は、国際会計基準であつて、令和元年十二月三十一日までに国際会計基準審議会の名において公表が行われた別表二に掲げるものとする。</p>	<p>（一般に公正妥当な企業会計の基準）</p> <p>第一条 連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（以下「規則」という。）第一条第三項に規定する金融庁長官が定める企業会計の基準は、公益財団法人財務会計基準機構（平成十三年七月二十六日に財団法人財務会計基準機構という名称で設立された法人をいう。）が設置した企業会計基準委員会において作成が行われた企業会計の基準であつて、平成三十一年一月三十一日までに企業会計基準委員会の名において公表が行われた別表一に掲げるものとする。</p> <p>（指定国際会計基準）</p> <p>第三条 指定国際会計基準（規則第九十三条に規定する指定国際会計基準をいう。）は、国際会計基準であつて、平成三十年十二月三十一日までに国際会計基準審議会の名において公表が行われた別表二に掲げるものとする。</p>

別表一（第一条関係）

号	数	表	題
[略]			
<u>企業会計基準第30号</u>			時価の算定に関する会計基準

別表一（第一条関係）

号	数	表	題
[同左]			
[項を加える。]			

備考 表中の「」の記載は注記である。